

高等学校 国語総合 古典編「改訂版」

A5判・192ページ

古文 32 教材
漢文 26 教材

■ご案内	
教科書の目次	古文編 1
教科書の特色	漢文編 2
教科書ダイジェスト	4
指導書・教材	6
デジタル教材	22
	24

*この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書
発行者行動規範」に則って作成しています。

国総 337

三省堂版 国語教科書

★印は平成29年度新刊, ☆印は平成30年度新刊です。

国語総合 ★ [改訂版] A5判/280ページ 国総 336	国語総合 ★ [改訂版] A5判/192ページ 国総 337	精選国語総合 ★ [改訂版] A5判/400ページ 国総 338	明解国語総合 ★ [改訂版] A5判/360ページ 国総 339
現代文B ☆ [改訂版] A5判/440ページ 現B 323	現代文B ☆ [改訂版] A5判/184ページ 古B 334	精選現代文B ☆ [改訂版] A5判/408ページ 現B 324	明解現代文B ☆ [改訂版] A5判/372ページ 現B 325
古典B ☆ [改訂版] A5判/260ページ 古B 333	古典B ☆ [改訂版] A5判/184ページ 古B 334	精選古典B ☆ [改訂版] A5判/372ページ 古B 335	

現代文A ☆ [改訂版] B5判/144ページ 現A 303	古典A ☆ [改訂版] B5判/144ページ 古A 306
--	---

高等学校国語総合編集委員																														
中洲正堯	岩崎昇一	赤井益久	阿部公彦	安藤延明	石村貴博	大島 晃	大高知見	風間誠史	小池保則	小島 昇	齋藤 祐	澤口哲弥	下山大介	杉山志津恵	高野光男	瀧 康秀	田口かおる	田中尚子	戸塚 学	長尾直茂	中村ともえ	奈良部真樹子	早川香世	福家俊幸	細谷敦仁	松下愛理	宮岡良成	宮川健郎	安田正典	柳 宣宏
兵庫教育大学名誉教授	東京都立国際高等学校	國學院大學	東京大学	高槻中学校・高等学校	専修大学	上智大学名誉教授	中央大学附属中学校・高等学校	相模女子大学	武蔵高等学校中学校	千葉県立東葛飾高等学校	中央大学杉並高等学校	三重県立飯野高等学校	駒場東邦中学校・高等学校	公文国際学園中等部・高等学校	東京都立産業技術高等専門学校	清泉女子学院中学高等学校	東京都立豊多摩高等学校	愛媛大学	武蔵大学	上智大学	静岡大学	千葉県立船橋芝山高等学校	東京都立深川高等学校	早稲田大学	東京都立戸山高等学校	東京都立深沢高等学校	会津大学	武蔵野大学	愛知淑徳大学	函館白百合学園中学校・高等学校

★三省堂教科書・教材サイト

<https://tb.sanseido.co.jp>

三省堂国語教科書

検索



三省堂

☎101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9556(営業)
 ●大阪支社 ☎530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06(6341)2177
 ●名古屋支社 ☎460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F ☎052(953)9211
 ●九州支社 ☎810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎092(531)1531・1532
 ●札幌営業所 ☎060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F ☎011(616)8722



古典編

- 古文は、中古・中世を中心に、国語総合で読んでおきたい作品を網羅して配列しました。
- さらに、大学入試を見据え、評論も豊富に収録しました。
- 漢文は、故事・漢詩・思想・文章・小説と、主要なジャンルの定評ある教材をそろえました。
- また、漢文を読む力を確実に習得するため、段階的な入門教材を設定しました。
- 豊富なコラムを設け、古典の知識や理解がより深まるようにしました。

古文編

一 説話

(古文入門)

児のそら寝 (宇治拾遺物語)
絵仏師良秀 (宇治拾遺物語)
大江山 (十訓抄)

文法から解釈へ① 用言 新

二 物語

竹取物語

伊勢物語

芥川／東下り／筒井筒／梓弓 新
文法から解釈へ② 助動詞 新

文法から解釈へ② 助動詞 新

三 随筆

徒然草 (兼好法師)
*(参考) つれづれなるままに／ある人、弓射ることを習ふに／丹波に出雲といふ所あり 新

新／亀山殿の御池に／

四 日記

土佐日記 (紀貫之)
門出／忘れ貝／帰京

◎ 古典の扉 月と暦

五 軍記

平家物語
祇園精舎／木曾の最期

◎ 古典の扉 敬語 新

六 和歌

万葉集・古今和歌集・新古今和歌集
◎ 古典の扉 和歌 つながろうとする言葉

七 紀行

奥の細道 (松尾芭蕉)
旅立ち／那須野／白河 新

◎ 古典の扉 古典における「旅」

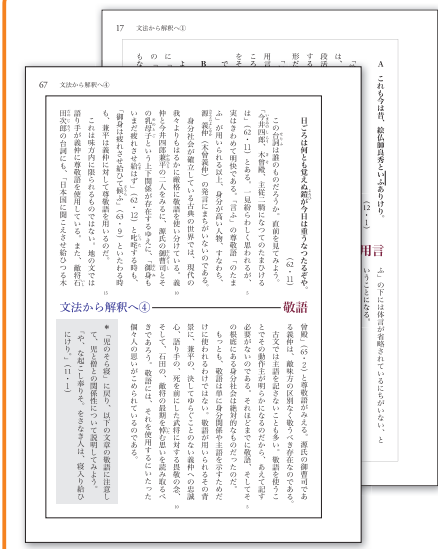
八 評論

* 俊頼髄脳 (源俊賴) 山吹の花 新
無名抄 (鴨長明) ますほの薄 新

うひ山ぶみ (本居宣長)
文法から解釈へ⑤ 文字つの返し 新

古典を読むことによって、私たちは何を知ることができるのか、なぜ、古典を読む必要があるのか。古典教材に先立ち、学習への意欲と覚悟がもてるメッセージ。

直前の教材から例を取り上げて文法を解説したコラムを新設。文法が作品世界を解釈するための大切な道具であることを改めて認識できます。



大学入試を見据え、評論教材も豊富に収録。当時の人々にとつて和歌の重要性や、学ぶことの大切さが理解できます。



* : 本内容解説資料でご紹介するページ

一 漢文入門

漢文の世界へ

＊漢文の構造と訓読の仕方
成句・格言を読む

◆置き字と再読文字 新

◎古典の扉 身近にある漢文

＊借虎威(戦国策)

蛇足(戦国策)

漁父之利(戦国策)

朝三暮四(列子)

管鮑之交(十八史略) 新

春曉(孟浩然)

登鸛鵲樓(王之渙)

静夜思(李白)

江雪(柳宗元)

送元二使安西(王维)

江南春(杜牧)

涼州詞(王翰)

春望(杜甫)

臨洞庭(孟浩然)

香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁(白居易)

漢文を読む力を確実につけるための段階的な入門教材を設定。豊富な練習問題やコラムを通して、訓読に欠かせない知識をおさえます。



四 史話

登高(杜甫)

◆漢詩の表現

＊先從隗始(十八史略)

臥薪嘗胆(十八史略)

晏子之御(史記) 新

鶏鳴狗盜(史記)

◎古典の扉 歴史を記録する 新

論語・孟子

◎古典の扉 孔子と門人 新

雑説(韓愈)

桃花源記(陶潜)

◎古典の扉 読み継がれる「小説」

六 文章

七 小説

五 思想

付録

古文を読むために

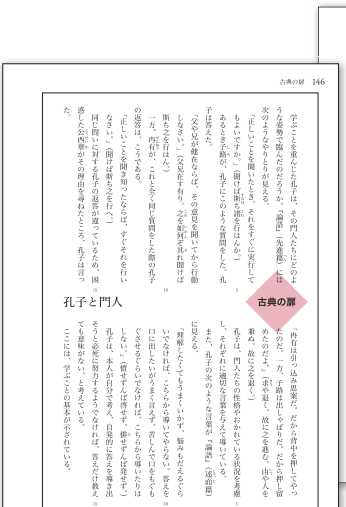
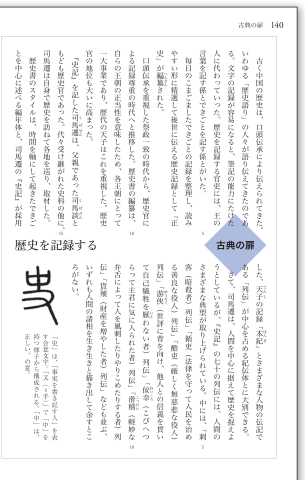
歴史的仮名遣い／五十音図・いろは歌／古語と現代語／品詞分類／用言と活用形／動詞／省略／形容詞／形容動詞／係り結び／仮定条件と確定条件／助動詞／助詞／敬語／和歌の修辭

古典文法要覧／古典文学史年表／漢文の基本形式／漢文参考略年表

資料

旧国名・都道府県名対照図／京都付近地図ほか／平安京条坊図ほか／装束／住居・調度／陰暦／古時刻／古方位、十干と十二支／中国参考地図

漢文への理解を深めるコラムを充実させました。漢文が受け継がれてきた背景や、現在にも通じる学ぶことの基本が理解できます。



◇古典を学ぶ意味について考えてみよう。

冒頭には、古典の魅力や今日的意義について述べた文章を配列。古典を学ぶ意味について考え、学習意欲が高められるようにしました。

古典を読むということ

たけにしひろこ
竹西寛子

どんなに単純なことにも、たいてい複数の原因があつて、他との関係抜きでありえないのは大方の事物の運命であるらしい。人間とてもその例外ではなく、自分一個の生存を考えてもことは決して単純でない。

今をよりよく知ろうとして、今を今として成り立たせている過去を知ろうとするのは、少なくとも驕慢^①でない人間の自然であり、それは、今後をいかに選択するかに直結しているという意味において生産的な行為のはずである。

実生活の具体的な様相や人間の心用いのさまざまは、歴史書よりも物語のほうにずっと詳しいと言つたのは『源氏物語』^②の作者であつたが、日本人の歴史、ことに感受性の歴史をたどろうとするとき、なるほどその具体性において文学作品を超えるものはまずないといえよう。

歌においても、日記物語においても、そこに表されているのは一般的男女ではなく、よきにつけあしきにつけ、常に個々の特殊具体的な男女であつて、その男女の喜怒哀

① 驕慢 おごり高ぶつて他をあなどること。

② 『源氏物語』 平安時代中期に成立した物語で、日本の古典文学の最高傑作とされる。作者は紫式部。

10

楽の具体相こそ過去の日本人の感受性の手がかりなのである。たとえつくられた作中人物のそれでも、作者の認識の外ではない。作者は意識的に、あるいは無意識的に、同時代の人と生活を借りながら、自身の喜怒哀楽の効果的な表現をたくらむ。したがって、読者としては、物語の筋書きだけでなく、作者の感受性の法則にもあやかれるわけで、具体的な意匠^③で共感や違和感を確かめながら、あわせて過去の日本人の分析、帰納^④を行うことが可能になる。

文学というのは、人間のどのような状態も、素材である限り丸ごと容認される寛大な器である。ここでは理性も感性も対等な重みを与えられていて、主従の関係はない。文学にはあらかじめ拒否されるべき素材は何一つない。

ただし、それをどのように表現にまで高めるかに作者の存在が問われているのは、千年の昔も今も全く変わっていない事柄^⑤と思う。そして、いい作品に、「力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ、男女の仲をもやはらげ、猛き武士の心をも慰むる」(『古今和歌集』^⑥ 仮名序) 効用のあることもまた、こう言つた紀貫之の時代と同じだと思ふのである。

古典を読むことの意味に、日本人の感受性の過去を知ることと言つてきたが、それは、日本語の歴史を知ることだと言いかえてもよい。日本語の今をよりよく知ろうと

5

③ 意匠 工夫、趣向。

④ 帰納 個々の事柄から一般的な原理や法則を導き出すこと。

10

⑤ 『古今和歌集』 九〇五(延喜五年、紀友則・紀貫之・凡河内躬恒・壬生忠岑によって撰進された最初の勅撰和歌集。

⑥ 紀貫之 八七二(貞観一四)年? (九四五(天慶八)年?)。歌人。『古今和歌集』の撰者の一人。「仮名序」を記した。

15

して、日本語の今を今として成り立たせている過去を知ろうとする、それは今後いかに自分の日本語を運用していくかに直結しうる行為である。

もつとも、認識と実行の隔たりは、「話す」「書く」において顕著なので、認識の強調はなんとなく気がひけるが、「読む」という全身の経験に基づく共感と違和感が、「話す」「書く」自分に与える侮り難い影響を思うと、たとえそれが、よくない言葉遣いに鋭敏に反応する言語感覚、言語認識の育成というほどのものであっても、私はそれを大切と思う。自分の言葉遣いのための法則を得ればそれにこしたことはないが、目的に走ると足をすくわれる。

古典は、初めから押しいたでいて読むべきものではあるまい。作者が喜怒哀楽を強調しているのだから、読者も自分の力に依じて素直に親しみ、反発していいと思う。反発することがあり、違和感をおぼえる部分があっても、優れた作品には必ずそれを上回る魅力がある。感嘆するばかり、という時期は、私の場合、まだ「要警戒」である。

素直な読みにだけ与えられる恩恵の大事を思うとき、「古言を知らでは古意は知られず」と言った江戸時代の学者、本居宣長の姿勢が思い返される。「古の言葉」に「古の心」を語らせよう。それが宣長の古典学における基本的な立場であった。古典

5

10

15

⑦本居宣長 一七三〇（享保一五）年～一八〇一（享和元）年。国学者・歌人。日本の古典の研究に励んだ。



竹西寛子

の一愛読者にすぎない私も、この姿勢の大事に思いついて久しいが、古文や古語に語らせるように読むことは決して易しくはない。
しかし、日本人の感受性の法則も、日本語のいい運用の法則も、語らせるように読もうとするとときにだけ、ひらめきのように感知されるものだということだけは、いくらか実感できるようになった。年若い、時間ができたから静かに古典でもという人があるが、とんでもない。古典を読むには相当のエネルギーがいる。若さがある。根気がいる。

5

◆「今をよりよく知ろうとして……生産的な行為のはずである。」（6・4～6）とほぼ同じ内容で、古典を読むことの意義について述べている部分を探し、筆者の考えをまとめてみよう。

◆古典を読むことによって私たちは過去のどのようなことを知ることができるのか、またそれがどうして古典を学ぶ意味になるのか、話し合ってみよう。

たけにしひろこ 一九二九（昭和四）年。小説家。広島県生まれ。作品に「蘭」「兵隊宿」などがある。本文は、『王朝文学とつき合う』によった。

古文は、国語総合で読んでおきたい作品を網羅して配列。筆者のものの見方や考え方がよく表れているものや現代と関連づけて読めるものを選んで教材化しました。

随筆

徒然草

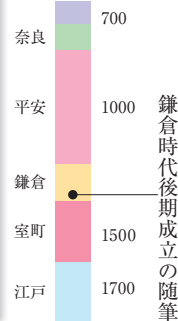
兼好法師

参考●つれづれなるままに

* つれづれなるままに、日暮らし硯に向かひて、心に
うつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつく
れば、あやしうこそものぐるほしけれ。
(序段)

* 語句 つれづれなり 日暮らし
そこはかとなし あやし

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期がわかるようにしました。



ある人、弓射ることを習ふに

ある人、弓射ることを習ふに、^①諸矢をたばさみて的に向かふ。師のいはく、「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。のちの矢を頼みて、初めの

① 諸矢 的に向かう時に作法として持つ、二本一組の矢。

矢になほぎりの心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へ。」と言ふ。わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。懈怠^{けだ}の心、自ら知らずといへども、師これを知る。この戒め、万事にわたるべし。

② 得失 成功と失敗。ここでは当たるか当たらないかという迷いの心。

道を学する人、夕べには朝あらんことを思ひ、朝には夕べあらんことを思ひて、重ねてねんごろに修せんことを期す。いはんや一刹那のうちに置いて、懈怠の心あることを知らんや。なんぞ、ただ今の一念において、ただちにすることのはなはだ難き。
(第九二段)

★「重ねて」とはどのような意味か。
③ 一刹那 ほんの一瞬という意味の仏教語。後出の「一念」も同じ。
* 語句 おろかなり 期す
いはんや

学習の手引き

文法を理解するための問いと内容を理解するための問いを教材に応じて段階的に設けました。

一 次の傍線部の助動詞の意味の違いを調べてみよう。

- ① ア おろかにせんと (37・2)
- イ 思はんや。 (37・2)
- ウ 朝あらんことを思ひ、 (37・5)
- ② ア 一矢に定むべしと思へ。 (37・1)
- イ 万事にわたるべし。 (37・3)

二 次のそれぞれの場合の「懈怠の心」について、具体的に説明してみよう。

- ① 「弓射ることを習ふ」 (36・1) 人の場合。
- ② 「道を学する人」 (37・5) の場合。
- 三 筆者は「懈怠の心」についてどのように考えているか、まとめてみよう。

古典への理解を深めたり、現代との関わりを考えたりすることができるコラム「古典の扉」を随所に設けました。

旧暦の一月は現在の二月にあたる。一〜三月は早春・仲春・晩春とされ、その時々々の風物を愛でた。月であれば仲秋の名月、すなわち八月十五夜（現在の九月の満月）が特に美しいとされた。

15

古典の四季・美意識

春（一〜三月）……梅、桜、うぐいす、春雨
 夏（四〜六月）……橘、ほととぎす、螢、五月雨
 秋（七〜九月）……紅葉、菊、月、鹿
 冬（十〜十二月）……雪、霜、木枯らし、千鳥

10

古典の扉

人々はこれらの風物そのもののすばらしさだけではなく、それらを待ち望んだり惜しんだりする心の動きや、それらと重ね合わされる人の世のありさまなどに深い情趣を見いだした。例えば、『伊勢物語』「東下り」（25ページ）の「唐衣……」の歌は、「かきつばた」の花を見て詠まれた。これは初夏の花であるが、花を衣に擦りつけて染める染料でもある。衣服は妻が用意するものであったから、「かきつばた―衣―妻（妻）」と発想して、妻のいる都を遠く離れた「旅の心」を歌いあげ、それを聞いた人々もまた涙したのだ。豊かな想像力と繊細な感受性をもとにして、自然と人の世の情趣を理解する。そのような人こそが「心あらん友」（46・2）、「よき人」（46・6）とされたのである。

10



かきつばた

5

「文法から解釈へ」では、直前の教材を例に文法を解説し、文法を学ぶことで古典の理解が深まることを実感できるようにしました。

A 花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは。

（45・1）

この文には「花は盛りのものだけを、月は曇らないものだけを見るものだろうか、いや違う。（それは当然だが、それ以外のものにも趣はある）」という兼好の美意識が表れている。ここから限定の副助詞「のみ」を抜くと、どうなるだろうか。

5

B 花は盛りに、月は隈なきを見るものかは。

「花は盛りのものを、月は曇らないものを見るものだろうか、いや違う。」――つまり、「満開の桜も照る月も見る値打ちがない」となり、Aとは全く異なる意味の文になってしまふ。助詞は、単独で使われることのない、見た目は小さな単語であるが、書き手の思いを表す上で重要なはたらきを担っているのだ。

10

試みにAの文から助詞を全て取り去ると、次のようになる。

15

C 花 盛りに、月 隈なき 見るもの。

どれも自立語であるから単語の意味はわかるが、そ

文法から解釈へ③

助詞

れを並べただけでは、書き手の思いは伝わらない。

Aの文では、係助詞「は」で「花」と「月」とを他のものと区別して取り立て、格助詞「を」で「見る」対象を示し、副助詞「のみ」で見る対象を「花は盛りに」「月は隈なき」に限定し、係助詞「か」「は」で文全体を反語の文として「花は盛りに、月は隈なきをのみ見るもの」に対して疑義を呈している。このような助詞のはたらきがあつて初めて、兼好の思いが読み手に伝わるようになるのである。

5

我々とはもすれば細部を見落としがちであるが、全体を支えているのは目立たない細かい部分であることが多い。

10

*次のアとイではどのように意味が異なるか、傍線部の助詞に注目して考えてみよう。

ア 一文字をだに知らぬ者、（51・12）

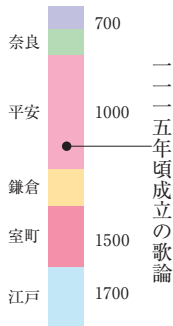
イ 一文字をのみ知らぬ者、

古典Bの学習や大学入試を見据えて、古文における評論的文章も豊富に取り上げました。

評論

俊頼髓脳

源俊頼



山吹の花

道信^①の中將^②、山吹の花を持ちて、上の御局^③といへる所を過ぎけるに、女房たち、あまたるこぼれて、「さるめでたきものを持ちて、ただに過ぐるやうやある。」と言ひかけたりければ、もとよりや、まうけたりけむ、くちなしにちしほやちしほそめてけり

と言ひて、さし入れければ、若き人々、え取らざりければ、奥に、伊勢大輔^④が候ひけるを、「あれ取れ。」と宮の仰せられければ、承りて、一間^⑤がほどを、みざり出でけるに、思ひよりて、

こはえもいはぬ花のいろかな

とこそ、付たりけれ。これを、上聞^⑥こしめして、「大輔なからましかば、

恥ぢがましかりけることかな。」とぞ、仰せられける。

これらを思へば、心疾^⑦きも、かしこきことなり。心疾く歌を詠める人は、なかなか、久しく思へば、悪^⑧しう詠まるるなり。心おそく詠み出だす人は、すみやかに詠まむとするもかなはず。ただ、もとの心^⑨ばへにしたがひて、詠み出だすべきなり。

学習の手引き

一次の傍線部の敬語の種類を答え、誰への敬意か説明してみよう。

①伊勢大輔が候ひける (88・5)

②宮の仰せられければ (88・6)

③上聞こしめして (88・9)

二「こはえもいはぬ花のいろかな」(88・8)の句のおもしろさはどこにあるか、話し合ってみよう。

三「心疾きも、かしこきことなり。」(89・2)とは、伊勢大輔のどんなところを評したものか、説明してみよう。

俊頼髓脳

源俊頼

歌論。筆者は源俊頼。一一一五(永久三)年頃成立。関白藤原忠実の依頼により、その娘のために作歌手引き書として著述された。和歌の種類、歌病、技法、歌語等について広く述べるとともに、多くの歌説話を記載するなど、作歌のための実用書としての具体的な内容に主眼が置かれている。本文は『新編日本古典文学全集』によった。

一〇五五(天喜三)年?〜一一二九(大治四)年。歌人。『金葉和歌集』の撰者。新鮮な感覚と大胆で自由な歌風を個性とし、藤原俊成・定家らに影響を与えた。勅撰和歌集への入集は二百首余りである。家集に『散木奇歌集』がある。

*語句 ただなり まうく みざる

付く 聞こしめす 恥ぢがまし
なかなか 心ばへ

⑥伊勢大輔 平安時代中期の女流歌人。一条天皇の中宮彰子に仕えた。

⑦宮 中宮。

⑧一間 柱と柱の間一つをいう。

⑨上 天皇。

①道信の中將 藤原道信(七三二〜七九四)。平安時代中期の歌人。藤原為光の子。
②山吹 晩春に黄色い花をつける。
③上の御局 上局の敬称。上局は、后妃が常の局の他に、天皇の御座所近くに賜る部屋。
④みざれて はみだし座っていて。「ただに過ぐる」とはどういうことか。
⑤くちなしに……「梔子」の実から染めた「くちなし(色)」に、無言の意の「口無し」を掛ける。「山吹の花色衣主や誰問へど答へずくちなしにして」(古今和歌集)俳諧歌・素性法師などをふまえる。「ちしほ(千人)」「やちしほ(八千人)」は布を染料に何度も浸けて染めること。

漢文の入門教材では、漢文の基礎構造や、送り仮名や返り点などの訓読に欠かせない知識や記号をきちんとおさえ、漢文を読む力が確実に身につくようにしました。

漢文の構造と訓読の仕方

……漢文の基本構造 一……

漢文において、文を構成する漢語の役割は語順によって決定され、日本語の文章のような助詞（テニヲハ）や活用語尾はない。日本語の語順と同じ構造の場合でも、語と語との関係を明らかにするために、助詞や活用語尾を「送り仮名」として補って訓読することが必要になる。

- 1 花 開_キ 〔主語―述語〕
- 2 白_キ 雲 〔修飾語―被修飾語〕
- 3 風 雨 〔並列〕

花 開_キ 鳥 啼_{ナク}。 花開き鳥啼く。
大 器_ハ 晚_ル 成_ス。 大器は晩成す。（大器↓大器 晩成↓晩成）
行_ハ 雲 流_ル る 水。 行く雲流るる水。（「行雲」と「流水」は並列）

……漢文の基本構造 二……

漢文の構造では、原則として述語が目的語などの前にくる。したがって、日本語の文章と語順が異なるので、まず主語を読み、次に目的語などを読み、最後に述語に返って読むことになる。また、「不」「無」「有」のような語は、必ず下から返って読まなければならない。返って読む順序を示す符号を「返り点」という。返り点には、レ点、一・二点、上・下点などがあり、漢字の左下に添える。

- 4 我_ワ 読_ム 書_ヲ 〔主語―述語―目的語〕
- ① 聞_ク 啼_テ 鳥_ヲ 〔述語―目的語〕
- ② 不_ズ 覺_エ 曉_ヲ 〔否定を示す語―述語―目的語〕

- ② 転_{ジテ} 禍_ワ 為_{ナス} 福_ト。 禍ひを転じて福と為す。

- ③ 尽_{クシテ} 人_ヲ 事_ヲ 待_ツ 天_ヲ 命_ヲ。 人事を尽くして天命を待つ。

●漢語の構造

漢語の構造は、次の五種類が基本となっている。どのような構造か考えてみよう。

- ① 日没 地震
- ② 善人 博愛
- ③ 飲食 善惡 人民 金銀
- ④ 成功 即位
- ⑤ 不正 非常 多欲

この構造は、そのまま漢文の構造につながっている。

●送り仮名のつけ方

- ① 漢字の右下に、小さく添える。
- ② 片仮名を用いる。
- ③ 古典文法に従い、歴史的仮名遣いを用いる。

●返り点の種類と使い方

- ① レ点 下の一字から、すぐ上の一字に返って読む。
 - ② 一・二点 「一」を付した字から、二字以上を隔てて、「二」「三」と上に返って読む。
 - ③ 上・下点（上中下点） 一・二点を付した句を間に挟んで、下から上に返って読む。
 - ④ 「レ」「止」 まずレ点で返り、次に一・二点、また上・下点に従って読む。
- ※返って読む字が熟語のときは、その熟語の中間に豎点（合符。今日ではハイフンの印。）を引き、その中間に返り点をつける。
- （例）遊_ニ学_ニ京_ニ都_ニ。

◎練習問題

- 1 次の文を訓点に従って読んでみよう。

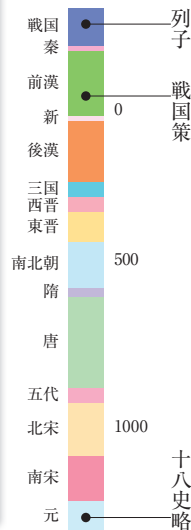
- ① 有_レ 備_ハ 患_ニ。 有る備へ患に。
- ② 低_レ 頭_ニ 思_フ 故_ニ 郷_ニ。 低く頭を思ふ故郷に。
- ③ 不_レ 知_ニ 其_ノ 人_ヲ 視_ミ 其_ノ 友_ヲ。 不知其の人を視其の友を。

故事成語

借虎威

漢文は、主要なジャンルの定評ある教材を配列。図版や資料を配置したり、内容理解のポイントとなる問いや句法を脚注欄に示すなど、漢文の読解を助ける工夫を随所に凝らししました。

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期や作者の活動時期などがわかるようにしました。



虎求^{メテ}百獸^ヲ而食^{ラフ}之^ヲ。得^{タリ}狐^ヲ。狐曰^{イハク}「子^シ無^{カレ}敢^{アヘテ}食^{ラフ}我^ヲ也。」
 天帝使^ム我^ヲ長^ニ百獸^ヲ。今^ニ子食^{ラハバ}我^ヲ、是^{コレ}逆天^ニ帝命^ヲ也。
 子以^{モツテ}我^ヲ為^{ナサバ}不^レ信^{ナラ}、吾^{われ}為^{ためニ}子^ヲ先^{セン}行^ヲ。子隨^{したが}我^ガ後^ニ觀^{ミヨ}。
 百獸之見^レ我^ヲ、而敢^{ヘテ}不^レ走^{ヤト}乎^ヲ。
 虎以^{ナス}為^レ然^{シカリト}。故^{ツヨニ}遂^ニ与^ト之^{これ}行^ク。獸見^レ之^ヲ、皆走^ル。虎不^レ知^ラ獸^ヲ、畏^レ己^ヲ而走^ル也。以^テ為^ス畏^ル狐^ヲ也。

(戦国策)

④ 遂 そのまま。
 ★ 「之」は何を指すか。

② 天帝 万物をつかさどる天の神。
 ③ 今 もし。仮に。

① 子 あなた。

文法や漢字について理解を深める問いと内容を理解するための問いを設けました。

学習の手引き

一 次の文を書き下し文に改め、口語訳してみよう。

① 子無^{カレ}敢^{アヘテ}食^{ラフ}我^ヲ也。(108・1)

② 敢^{ヘテ}不^レ走^{ヤト}乎。(108・4)

二 「観」(108・3)と「見」(108・4)の意味の違いを説明してみよう。

三 「虎の威を借る」は、現在どのような意味で使われているか、調べてみよう。



『成語故事』より

* 無^{カレ}敢^{アヘテ} 決して[A]するな。

(禁止)

* 使^ム [A] [B] [A]に[B]させる。(使役)

* 不^レ [A] (し) ない。(否定)

* 敢^{ヘテ}不^レ [A] 乎 どうして[A] (し) ないでいようか、いや、きっと[A]

する。(反語)

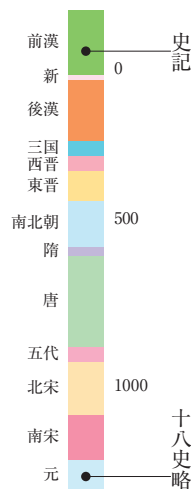
* 以^テ為^ス [A] [A] (である) と思っ

た。

史話

先 從 隗 始

史実と文学的創作とが交錯する史話を豊富に採録。文章表現の巧みさや登場人物の描かれ方に着目して、漢文のおもしろさを存分に味わえるようにしました。



戦国時代中期、「戦国の七雄」に数えられていた燕は、君主噲の失政によつて混乱状態にあった。齊はその隙をついて攻撃をしかけ、すでに国政を投げ出していた噲を殺害した。紀元前三二四年のことである。

燕人立太子平為君。是為昭王。弔死問生、卑辞厚幣、以招賢者。問郭隗曰：「齊因孤之国、乱而襲破燕。孤極知燕小，不足以報誠得賢士与共国，以雪先王之恥，孤之願也。先生視

- ① 昭王 在位は前三二一年～前二七九年。
- ② 弔死問生 戦死者を弔い、生存者や遺族を慰める。
- ③ 卑辞厚幣 へりくだった言葉を使い、多くの贈り物を用意する。
- ④ 郭隗 燕の人。
- ⑤ 孤 王侯の謙称。
- ⑥ 報 仕返しをする。
- ⑦ 与共国 国政を一緒に行う。
- ⑧ 先王 昭王の父で、殺害された噲を指す。

可者得身事之。

隗曰：「古之君有以千金使涓人求千里馬

者，買死馬，骨五百金而返。君怒。涓人曰：「死馬

且買之。況生者乎？馬今至矣。」不期年，千里馬

至者三。今王必欲致士，先從隗始。況賢於隗

者，豈遠千里哉？於是昭王為隗改築宮，師事

之。於是士爭趨燕。

(十八史略)

学 習 の 手 引 き

一 この話における「千里馬」(131・2)、「死馬」(131・3)とは、どのような人物を指しているか、説明してみよう。
二 郭隗の弁舌の巧みさはどういふ点にあるか、まとめてみよう。

三 「隗より始めよ」は、現在どのような意味で使われているか、調べてみよう。

★「先從隗始」とは、具体的にはどういふことを求めているのか。

★「古之君」で始まる郭隗のたとえ話はどこまで続くか。

★「涓人 君主の近くにいて、その身のまわりの世話をする人。」

★「千里馬 一日に千里を走るほどの名馬。」

★「期年 一年。」

★「致 招く。」

★「況 且」(況や) [A]でさえ[B]である。まして[C]ならなおさら[B]だ。[抑揚]

★「於」(於) [A]よりも[A] (だ)。

★「豈」(豈) どうして[A] (し) しょうか、いや[A] (し) ない。[反語]



指導書・教材

- 指導書には、教材研究や評価に活用できる資料はもちろん、ワークシート・テスト問題・補充教材などを豊富に収録しました。
- 「アクティブ・ラーニングのために」を新設し、主体的・対話的に学びを深める学習活動案を示しました。

指導書

本体価格 一、〇〇〇円（税別） ※「現代文編」「古典編」で別売になります。

指導資料

教材研究に役立つ資料や、実際の授業や評価で活用できる情報を豊富に掲載しています。

発問例集

指導資料に掲載した発問をまとめたデータを収録しています。

ワークシート

- 構成・内容理解シート
- 語句・漢字学習シート
- 古文品詞分解シート
- 漢文書き下し文シート
- 古典口語訳シート

基本テスト

短時間で基礎を養う小テスト。現代文編では漢字や語句、古文では文法、漢文では句法などについて出題します。

評価問題

定期考査などに使える問題を、各教材、難易度別に複数収録しています。

実力問題

教科書の教材と同じ著者の作品や、別の著者による同じテーマの文章などを素材にした実力問題を豊富に収録しています。

指導書別売品

■ 教師用教科書 本体価格三、〇〇〇円（税別）
指導書の「教師用教科書」と同じものです。

■ 指導資料PDF版 本体価格五、〇〇〇円（税別）
※「現代文編」「古典編」が一つになっています。

指導書の「指導資料」の紙面をPDFデータにしたものです。

生徒用教材

■ 学習課題ノート 本体価格五〇〇円（税別）
教科書準拠のワークブックです。別冊解答には、自習にも使える詳しい解説が付いています。

教師用教科書

教科書の紙面に、文章構造や要約、口語訳や文法の解説、「学習の手引き」の解答例など、授業に役立つ情報を青字で刷り込んだものです。

補充教材

教科書の教材に関連する資料や、発展的に読むことができる作品などを収録しています。

教科書原文

教科書教材文の原文データを収録しています。

朗読CD

一部の教材について、朗読を収録した音声CDです。

漢文エディタ

訓読文や漢文テストの問題文を編集するためのソフトです。

学習課題ノート

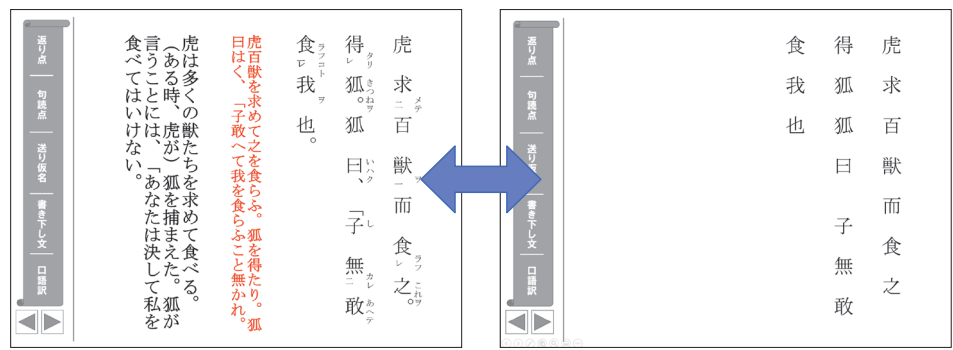
別売の生徒用教材「学習課題ノート」のデータを同梱しています。

授業で使える便利なツールをダウンロード!!

投影用本文データ

電子黒板など大画面に提示する簡易版デジタル教材として活用できる「本文パワーポイントデータ」がダウンロードできるようになりました。

ボタンによって表示内容の切り替えができます。



返り点、句読点、送り仮名、書き下し文、口語訳の表示/非表示が切り替え可能!

ダウンロード方法

1. 下記 URL から三省堂教科書ページへ
2. 対象書名を選択
3. 教科書ページの「資料ダウンロード」内にある「サポート資料」からダウンロードページへ遷移
4. 認証情報を入力※
5. 各データをダウンロード

※認証には指導書本冊が必要になりますので、お手元にご準備ください。



画像は高等学校現代文Bのものです。

三省堂教科書ページ

<https://tb.sanseido-publ.co.jp/h-school/hs-kokugo/>





デジタル教材

指導者用デジタルテキスト

はじめに

●教科書の内容を最大限に活用すること

デジタルテキストでは、教科書本文の拡大提示、付録や図版資料のインデックスおよびその拡大提示など、教科書の内容を提示用の素材として、最大限に活用することをコンセプトに製作いたしました。

●CoNETSビューア

平成29年度版からは教科書会社14社が参画して開発した共通プラットフォームCoNETSビューアでのご利用になります。

▶CoNETSについて (<http://www.conets.jp/>)

CoNETSビューアでは、先生ごとにユーザーを登録することで、書き込み情報や履歴などをそれぞれに保有することができます。



※画面サンプルはすべて「精選国語総合」となっております。

指導者用デジタルテキスト 〈校内フリーライセンス〉※1

OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows 版	教科書利用期間一括※2	40,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード
Windows 版 単年度ライセンス	ご購入年度末まで	18,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード

学習者用デジタルテキスト 〈1端末1ライセンス〉※3,4

OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows 版 / iOS 版	教科書利用期間一括※2	1,500円+税	ダウンロード

※1 校内のすべての端末にインストール可能です。なお、価格は1学年の価格です。

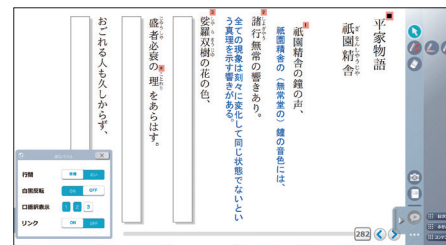
※2 収録されている検定教科書の使用期間中はご利用いただけます。

※3 教師用デジタルテキスト購入校のみ購入できます。

※4 インストールする端末(1端末)ごとにライセンス料金をお支払いいただきます。

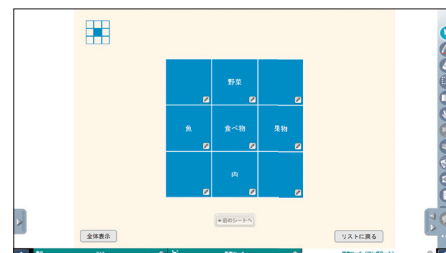
指導者用 豊富なコンテンツで授業をサポート

■本文解説



本文の口語訳のon/offができます。マスクをはがしながら表示することもできます。

■思考ツール



デジタルテキストオリジナルのコンテンツも多数収録しています。

■コンテンツ一覧



「フラッシュカード」「図版資料」「人物相関図」など、さまざまなコンテンツを収録。

■オンライン辞書



授業での提示に特化した指導者用の辞書サイトをデジタルテキストのリンクからご利用いただけます。

●動作環境 指導者用 (2020年1月現在)

Windows 版	
OS	Windows 8.1 / Windows 10 (32bit / 64bit 対応)※1
ブラウザ	Internet Explorer 11
CPU	Intel Core i3以上推奨
メモリ	4GB以上
空き容量	4GB以上(ビューア1GB+教材3GB)
その他	.NET Framework 4.5.1以降

※ Microsoft, Internet Explorerおよび Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※1 Windows RTには対応していません。

動作環境や導入にあたっての条件等は、CoNETSのWebサイトにて最新の情報をご確認ください。 <http://www.conets.jp/>

学習者用デジタルテキスト についての特徴や動作環境など、その他詳細な情報は三省堂教科書・教材サイトをご覧ください。
●体験版DVD-ROMのお申し込みはeメールにてご連絡ください。
eメールアドレス: info-tbdt@sanseido-publ.co.jp

★三省堂教科書・教材サイト
<https://tb.sanseido.co.jp>

